気迫の勝利 全員が号泣

…チーム全員の気迫で延長戦を制した学習院は試合後、選手全員で号泣。滝沢拓也監督(34)も涙を流しながら、「褒め足りないくらいだ」と絶賛した。

学校職員の滝沢監督が午後5時までは勤務で練習に出られないため、「俺がいない間はお前が監督だ」と林直志(なおゆき)主将（3年）に託してきたが、13人だけだった部員が、なかなかまとまらなかった。今年1月、チームづくりの気苦労やトレーニングの疲れもあり、元々、体が弱かったという林主将が授業中に貧血で倒れた。以降、「林だけを頑張らせるな」と、チームワークが出てきたという。

昨夏、4回戦負けで号泣した林主将は、今年は劇的な勝利でまた涙顔。「仲間と一緒に一つでもいい試合をしていきたい」とさらなる健闘を誓った。

2010.7.5
読売新聞

学習院 延長10回制す

学習院―早稲田は、今大会初の延長戦の末、学習院が勝利。十回は一死二塁から、中前打を中堅長崎が気迫のバックホームで補殺。二死満塁のピンチも瀬尾が三振を奪い守りきった。

2010.7.5
朝日新聞

14版

【学 習 院】	打	安	点
二 林	5	1	0
左 吾妻	3	0	0
遊 清水	5	2	1
捕 山田	5	3	1
一 永田	4	2	0
中 長崎	5	1	2
三 瀬尾	4	0	0
投 大塚	2	0	0
打 安西	1	0	0
三 福宮	2	0	0
右 本	4	0	0
振 球 犠 併 残	…	…	…
4 2 2 2 10	40	9	4

【早 稲 田】	打	安	点
二 志岐	5	1	0
遊 田伏	5	1	0
一 金	4	2	0
中 寺本	6	1	0
左 伊藤	5	0	0
投 河村	2	0	0
捕 山崎	3	1	0
右 菊池	3	2	1
三 宇田川	2	1	1
振 球 犠 併 残	…	…	…
5 11 3 0 16	35	9	2

投手	回	安
大塚	5	5
瀬尾	5	4
河村	10	9

三林 金 山田
清水 盗学6 失
学3 早1 ▽審判
（球）林健（塁）
斉藤 玉田 浅染

学習院が早稲田から劇的勝利／東東京大会

記事を印刷する

2010.7.5
日刊スポーツHP

＜高校野球東東京大会＞◇4日◇1回戦

学習院が、早稲田に劇的な勝利で初戦を突破した。

3－3の同点で迎えた延長10回表無死で、3番清水寛内野手（3年）に打席が回って来た。「3年間を共にした仲間が後ろにいる。自分を信じて振るだけ」。3球目、高めの直球を右翼線への二塁打で出塁し1死二塁。5番永田敏也内野手（2年）が死球で出塁すると、6番長崎航外野手（3年）の2球目で重盗を成功させて二、三塁。次打者の一ゴロの際に三塁走者の清水が突っ込み生還。決勝点となり、苦しみ抜いた初戦に勝利を挙げた瞬間だった。「攻めて、早稲田に勝てたことは自信につながる。1戦必勝！」と次戦に気持ちを切り替えた。14日、2回戦は立志舎と対戦する。